

# 財政の しおり

(かのやの予算)



令和 5 年度版  
鹿屋市 総務部財政課



# 財政って何だろう？

みなさんは「財政」という言葉を聞いたことがありますか？

財政とは、私たちが健康で豊かな生活を送れるよう、国や地方公共団体が様々な公共サービスを提供していくために、税金などのお金を集めて、住民のための仕事に必要なお金を支払っていく経済活動のことです。

この「財政のしおり」では、「予算」や「決算」など財政の流れや仕組のほか、鹿屋市が実際に行っている仕事や財政状況について紹介していきます。

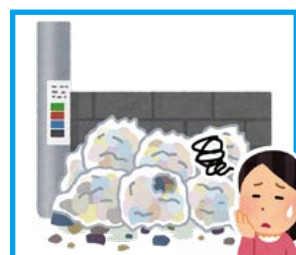
## 目次

はじめての財政	3
予算のしくみ	5
歳入予算	7
歳出予算	8
「かのや家」の家計簿	9
財政のギモン	10
決算のしくみ	11
鹿屋市の決算	12
決算からわかること	13
鹿屋市のしごと	
令和5年度の予算	15
主な事業(しごと)	17
財政まめ知識	21

## もし公共サービスがなくなったら・・・



道路は穴だらけ

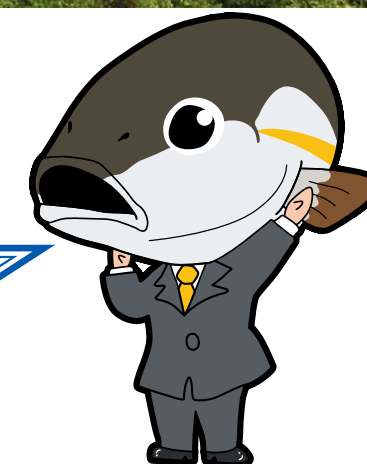


ごみが山盛り！



学校はどうなる？

みなさんの生活と深いつながりがある「鹿屋市の財政」について、一緒に学びましょう。

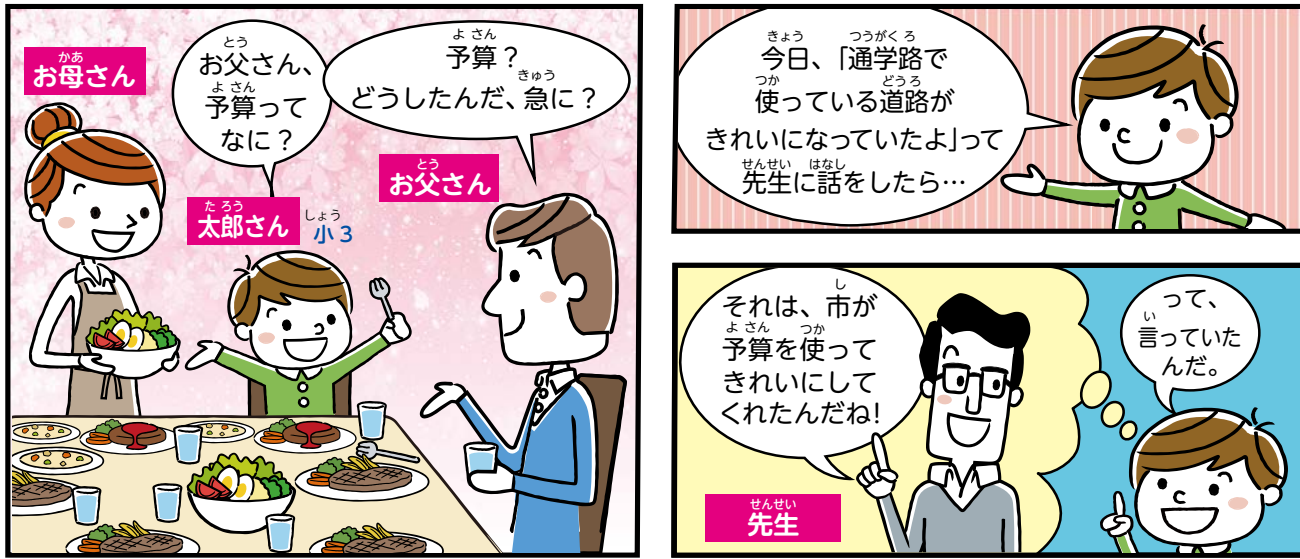


鹿屋市 PR 特命係長 かのやカンパチロウ



# はじめての財政

★ある日、太郎さんの家の食卓で…。



**ポイント**  
「予算」と「決算」の意味について理解しよう。

## 予算と決算

国や地方公共団体（鹿児島県・鹿屋市など）では、1年間に使えるお金がどのくらいあって、それらのお金をどのように使っていくか予測し、年間の計画を立てています。これが「予算」です。  
例えば鹿屋市でも、通学路などの道路や水道の整備、図書館や公園の管理に必要な予算を組んで、市民のための仕事を行っています。  
1年間をとおして計画どおりにお金が集まったか、適切に使われたかの結果を確認をすることが、「決算」です。



## 予算から決算までの流れ（イメージ）

予算



お金をどのように使うか  
決める1年間の計画

4月から3月の1年間

住民サービスの実施（予算の執行）

決算



結果の確認

- ・1年間でお金がいくら入ったか
- ・予算を1年間でいくら使ったか

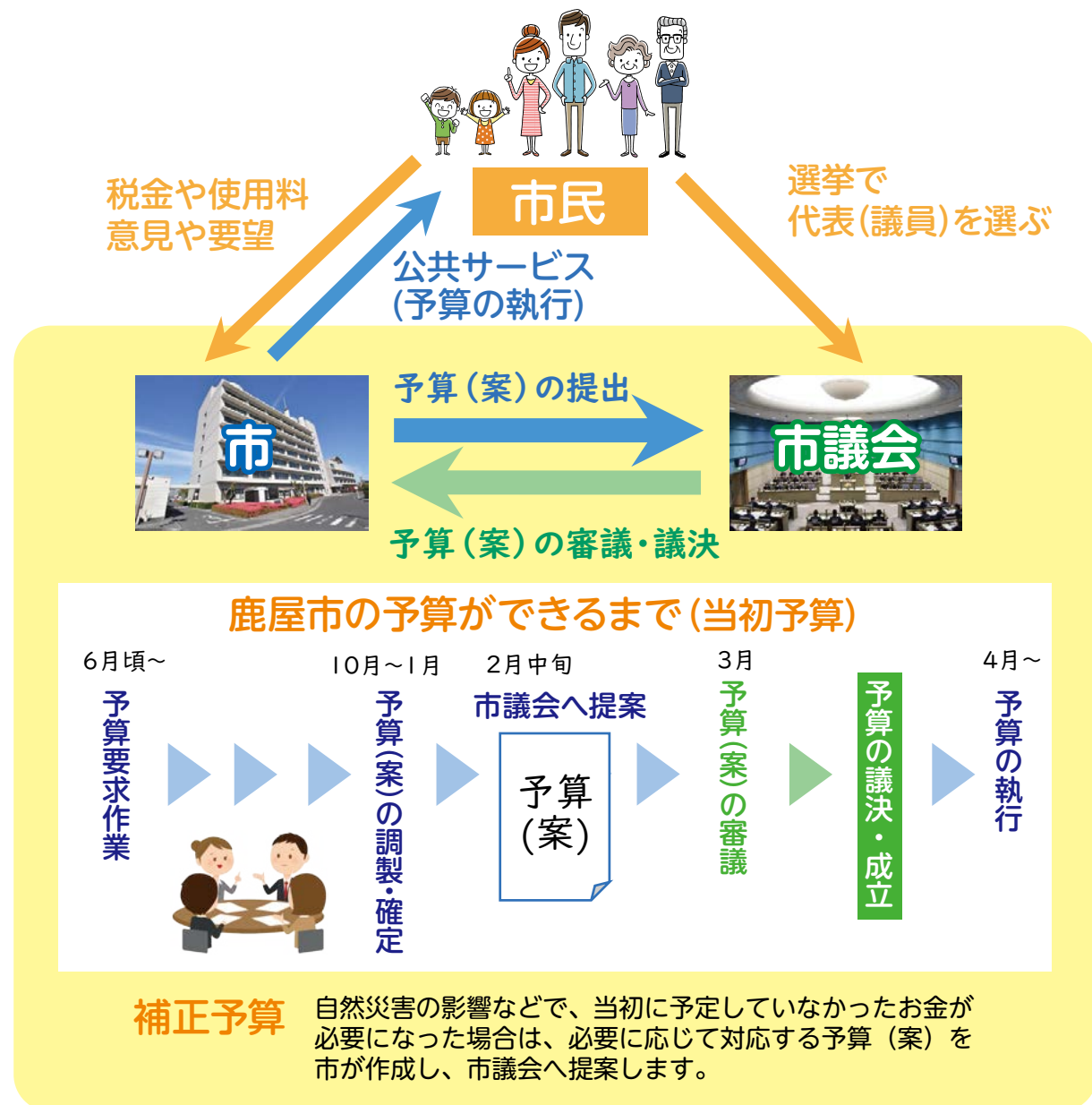


# 予算のしくみ



## 予算ができるまで

市民の安全・安心な生活を守る活動や暮らしを豊かにするための活動、将来への計画的なまちづくりのために予算が作られ、市議会へ提案されます。



## 予算と会計

鹿屋市の予算には、一般会計と特別会計のほか、独立採算による特定の事業を管理する公営企業会計の3種類の会計(財布)があります。

### 一般会計

福祉や教育、道路整備など、基本的な行政サービスに必要なお金を管理する会計。家計に例えるなら生活費に使うお金を出し入れする財布です。

### 特別会計

特定の目的のための会計。お金の出入りを区別するために一般会計と別になっています。

- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計

### 公営企業会計

民間企業と同じように、利用者から料金をもらって事業を行っている会計。

- 鹿屋市水道事業会計
- 鹿屋市下水道事業会計



# 予算のしくみ

## 歳入予算 (1年間の収入)

歳入とは、収入のことです。市民のみなさんに納めていただく税金や施設の使用料のほか、国や県から交付されるお金などが主な収入となり、歳入予算として組み込まれます。

### 歳入予算の内訳

#### 自主財源

市民のみなさんに納めていただく市税や施設使用料など、鹿屋市が自主的に集めることができる収入



歳入科目	説明
市税	市民のみなさんに納めていただく税金
分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただくお金
使用料及び手数料	各施設の使用料や、証明書交付手数料など
繰入金	市の基金(貯金)からの取崩しなど
寄附金	ふるさと納税などによる市への寄附
その他	財産収入や前年度からの繰越金など

#### 依存財源

道路や施設を建設する時に国や県からもらう補助金や、借り入れる市債など、使い道が定められた収入

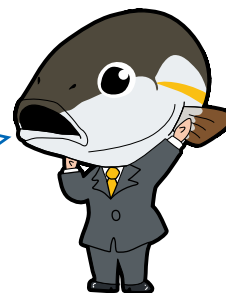


歳入科目	説明
地方交付税	すべての地方公共団体が行うべき事務の、一定の水準を維持するための財源として、国が交付するお金
国庫支出金	市の行政サービスを行うために、国や県から交付されるお金
市債	国や金融機関などからの借入金
譲与税・交付金 (交通安全対策特別交付金を含む)	国や県が集めた税金を各自治体へ再配分する譲与税や交付金など



自主財源の比率が高いほど、自由に使える財源が多い。

鹿屋市は自主財源よりも依存財源のほうが多い状況です。自主財源を増やすことが鹿屋市の重要な課題だね。



## 歳出予算 (1年間の支出)

歳出とは、支出のことです。歳出予算は、子育てや福祉、道路・学校の整備、災害復旧などの目的に応じて使われます。歳出予算の目的を確認することで、何のために使う予算なのかを知ることができます。

### 歳出予算の内訳 (目的別)

#### 議会費



議員の報酬や議会の運営費

#### 総務費



庁舎の管理、税金の徴収、地域振興、防犯対策など

#### 民生費



子ども、高齢者、障がい者の福祉増進など

#### 衛生費



健康管理、ごみ、し尿の処理など

#### 労働費



雇用対策、労働者の福祉向上など

#### 農林水産業費



農業、林業、畜産業、水産業の振興など

#### 商工費



商店街や中小企業の支援、観光振興など

#### 土木費



道路、公園、市営住宅等の維持管理・整備など

#### 消防費



消防業務、災害対策など

#### 教育費



学校の管理運営、整備、スポーツ振興など

#### 災害復旧費



大雨や台風などの災害復旧

#### 公債費



施設整備などで借りたお金の返済

#### その他



預貯金など



どの目的にお金を使おうか...

### 【参考】鹿屋市における歳出予算の内訳(目的別)

※令和5年度一般会計予算より

目的	予算額	構成比	目的	予算額	構成比
議会費	2億8,485万円	0.5%	土木費	37億8,731万円	6.5%
総務費	60億5,735万円	10.4%	消防費	15億 166万円	2.6%
民生費	233億 117万円	40.2%	教育費	68億9,377万円	11.9%
衛生費	29億9,101万円	5.2%	災害復旧費	2億2,822万円	0.4%
労働費	7,438万円	0.1%	公債費	48億4,348万円	8.3%
農林水産業費	27億4,755万円	4.7%	その他	41億9,100万円	7.2%
商工費	11億1,824万円	1.9%	合計	580億2,000万円	100.0%



# 予算のしくみ

## 「かのや家」の家計簿

予算について身近に感じてもらうために、鹿屋市の予算を一般家庭の家計に例えて置き換えてみました。（『かのや家』の家計簿）収入と支出について、それぞれのイメージをつかみましょう。

金額は、令和5年度一般会計当初予算の額を10万分の1にしたものです。



### 収入

収入内訳	(市予算上の性質区分)	金額
給料	(市税)	115,000円
自主財源 雑収入	(使用料及び手数料)	43,000円
	(分担金及び負担金) など	
自主財源 預貯金の取崩し	(繰入金)	54,000円
前月の収入の残り	(繰越金)	6,000円
依存財源 親からの援助	(国庫支出金)	155,000円
⇒使い道の決められたお金	(県支出金)	
依存財源 親からの援助	(地方交付税)	172,000円
⇒自由に使えるお金	(地方譲与税)	
借入(ローン)	(市債)	36,000円
<b>収入合計</b>		<b>※ 580,000円</b>
預貯金の残高	(積立基金の残高合計) 令和3年度末現在高	201,000円

### 支出

支出内訳	(市予算上の性質区分)	金額
食費	(人件費)	75,000円
医療費・教育費	(扶助費)	164,000円
家のローンの返済	(公債費)	48,000円
家の増改築	(普通建設事業費)	62,000円
自然災害による家の補修費(災害復旧事業費)		2,000円
光熱水費、日用雑貨	(物件費)	84,000円
家や車の修繕費	(維持補修費)	5,000円
町内会、サークル会費	(補助費等)	56,000円
預貯金	(積立金)	37,000円
知人に貸したお金	(貸付金)	
子どもへの仕送り	(繰出金)	48,000円
<b>支出合計</b>		<b>※ 580,000円</b>
ローンの残高	(市債残高) 令和3年度末現在高	400,000円

※ 端数処理のため、収入・支出の内訳の合計額とは一致しません。

# 財政のギモン

予算の4割を占める

## Q 民生費って何に使われるの？

A 民生費とは、高齢者福祉や医療、保育費などに使われるお金のことで、市の一般会計予算の約4割を占めています。民生費は、安心して子育てをするための環境整備や、障がい者の日常生活及び社会生活を支援するための取組、高齢者が充実した生活を送るための支援などを中心に使われています。

### 子育て支援 約100億円

- 保育所等の運営費
- 保育料の軽減
- こども医療費の助成
- おむつ等助成券の配付 など

### 高齢者支援 約41億円

- 介護保険、後期高齢者医療事業に要する経費(特別会計繰出金)
- 高齢者等訪問給食サービスの実施 など

### 障がい者支援 約54億円

- 自立を支援する各種障がい福祉サービスの実施など

### その他 約38億円

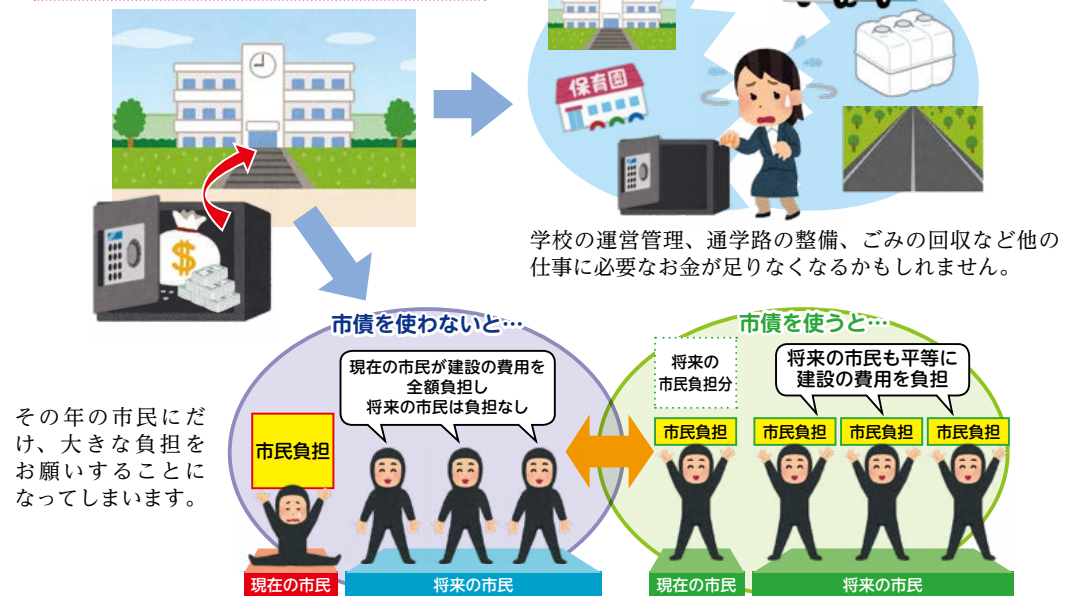
- 国民年金・国民健康保険事業に要する経費や生活保護費など

※金額は、令和5年度一般会計予算をもとに算出

## Q どうして借金(市債)をするの？

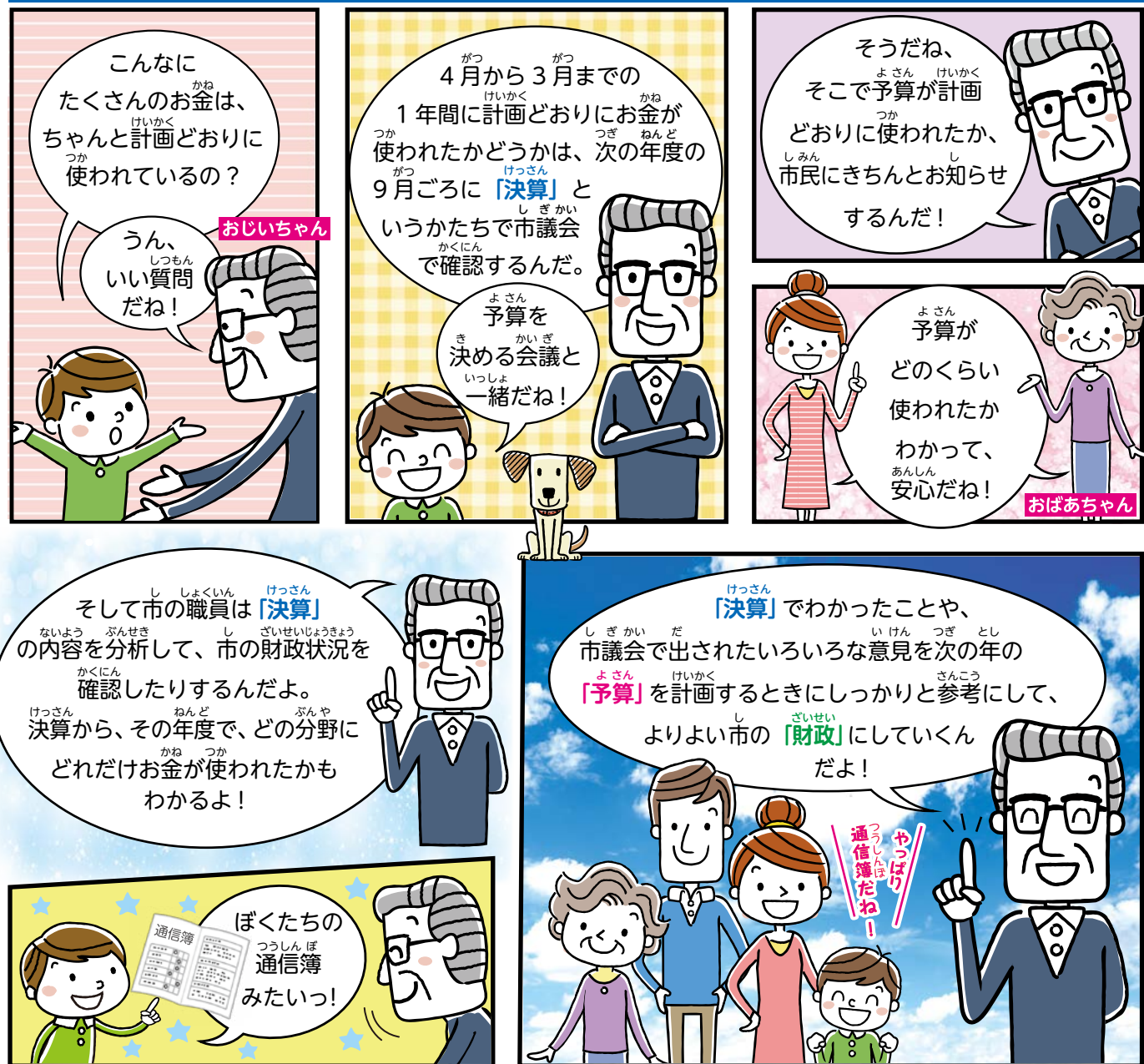
A 学校や道路などの公共施設を整備するには、一時的に多くのお金が必要です。この費用をその年の収入だけで賄おうとすると、他の必要な公共サービスに使うべき費用が足りなくなります。公共施設は将来の市民も利用することから、世代間での負担の公平性を図るために、市債(借金)を活用しています。

もし、学校の建て替えに必要なお金を一度に支払ってしまうと...





# 決算のしくみ



## 決算の報告と認定

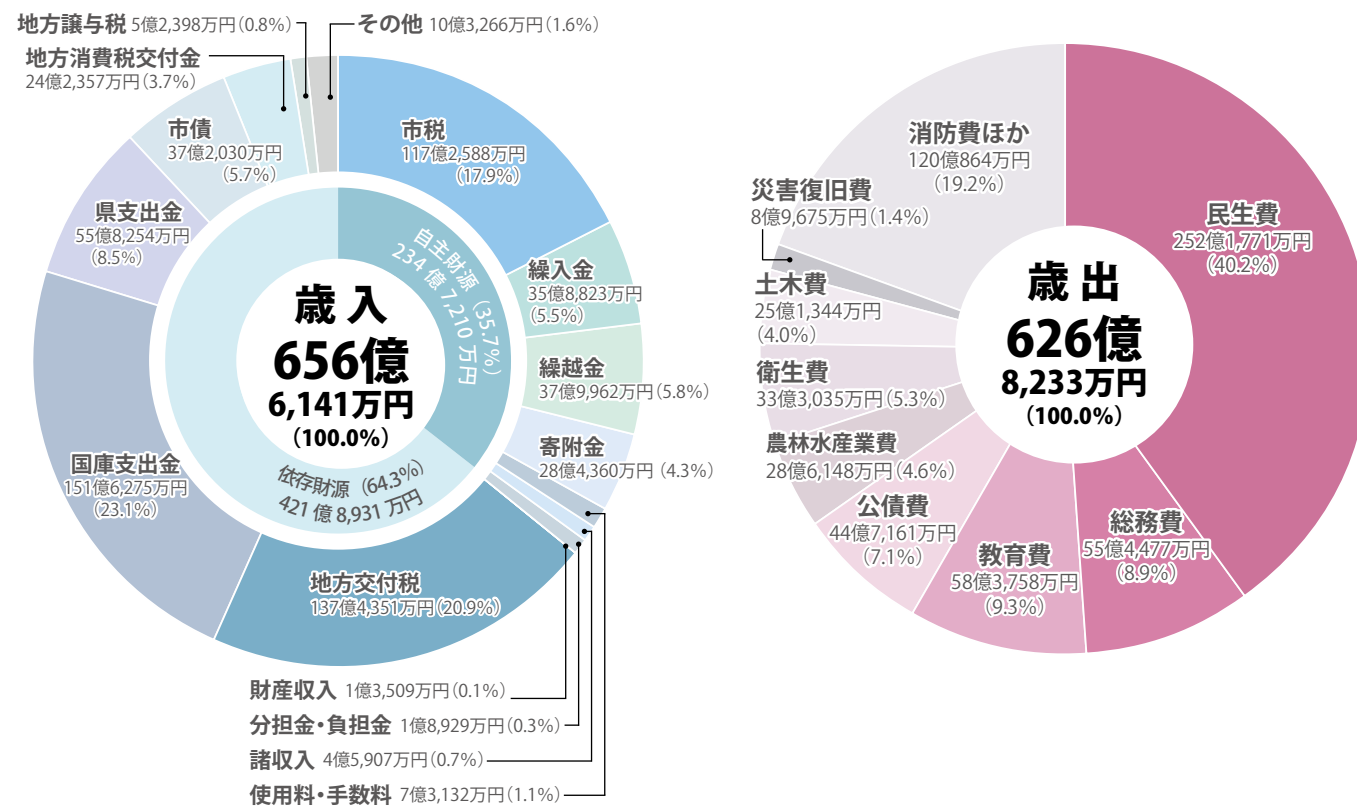
市は、予算に対する1年間の収支の結果をまとめた決算書を作成します。決算書は、監査委員の審査を受けた後、市議会の認定を受けます。認定後は、「広報かのや」や市ホームページなどで決算の内容を市民のみなさんにお知らせしています。



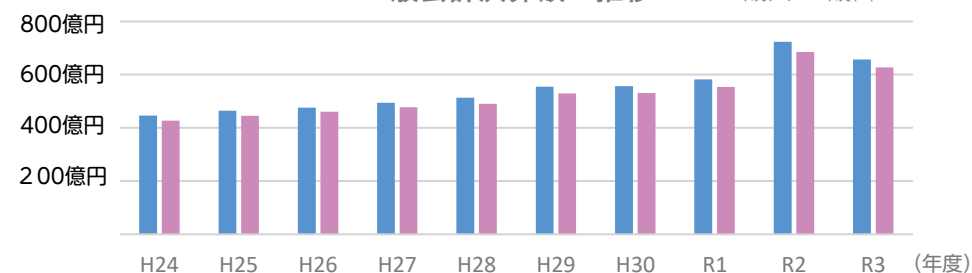
# 鹿屋市の決算 (令和3年度)

決算では、1年間にどれくらいのお金が入り使われたかについて知ることができます。鹿屋市の実際の決算を見てみましょう。令和3年度の一般会計では、1年間に約656億円のお金が入り、626億円のお金が使われたことがわかります。

## 一般会計決算



一般会計決算額の推移



特別会計と企業会計でも、事業の収支を明確にするため、それぞれの会計で決算が行われています。

## 特別会計決算 (令和3年度)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	118億2,313万円	114億5,784万円
後期高齢者医療	13億8,066万円	13億6,886万円
介護保険事業	119億 330万円	116億3,118万円

## 企業会計決算 (令和3年度)

会計名	収入	支出	
水道事業	収益的	18億7,832万円	15億 794万円
	資本的	4,161万円	8億3,981万円
下水道事業	収益的	9億1,694万円	8億6,209万円
	資本的	2億4,241万円	5億3,902万円



# 予算のしくみ











## 決算からわかること



決算では、実際にどのような分野に、どれだけのお金が使われたかを知ることができます。鹿屋市の令和3年度決算を見ると、幅広い分野にお金が使われている中、「福祉・保健・医療」や「子育て・教育」に使われた割合が大きいことがわかります。

### 分野別に見るお金の使われ方 (令和3年度鹿屋市一般会計決算より)

※ ( ) は、市民1人あたりの額 (令和4年3月31日現在 99,255人)

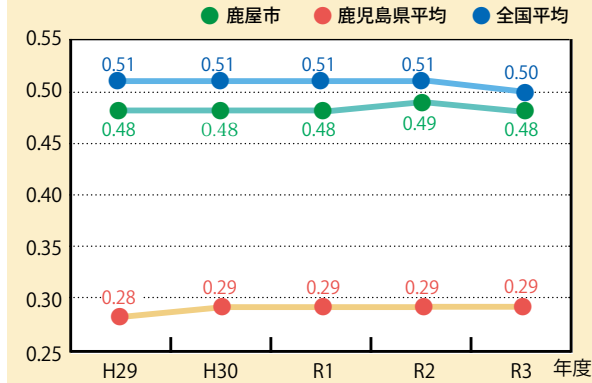
	<b>福祉・保健・医療</b> 市民の健康増進、予防接種や生活衛生など	162億4,629万円 (163,682円) 25.9%
	<b>子育て・教育</b> 子育て支援、学校教育、市立学校（小中学校、鹿屋女子高、看護専門学校）の管理運営、保育所や幼稚園などの整備・運営支援、生涯学習の推進、文化財の保護、青少年育成など	160億4,241万円 (161,628円) 25.6%
	<b>行政の運営など</b> 庁舎等の管理、市の計画策定、選挙、監査、議会の運営など	120億893万円 (120,991円) 19.2%
	<b>道路や学校の建設などに活用した市債の返済</b> 事業を実施するために借り入れた市債の償還	44億7,161万円 (45,052円) 7.1%
	<b>道路や住宅、公園など計画的なまちづくり</b> 道路や河川、都市公園、市営住宅等の整備・維持管理、都市計画など	31億498万円 (31,283円) 4.9%
	<b>産業振興や観光の推進</b> 企業誘致・立地の促進、商工業の振興、雇用の促進、観光PRなど	30億6,931万円 (30,924円) 4.9%
	<b>農林水産業の振興</b> 農林水産業の経営体制・生産基盤の強化、農作業の省力化・生産性向上、担い手確保など	28億5,357万円 (28,750円) 4.5%
	<b>防災、災害復旧</b> 消防、防災や災害復旧など	22億9,478万円 (23,120円) 3.7%
	<b>環境対策</b> ごみの処理や減量・リサイクル、不法投棄防止対策など	15億3,821万円 (15,498円) 2.5%
	<b>地域の活性化</b> 交通対策、スポーツ振興、地域づくりや市民活動支援など	10億5,224万円 (10,601円) 1.7%

## データで見る鹿屋市の財政状況

決算の結果をもとに、市の財政の豊かさを示す「財政力指数」などの財政指標が算出されます。これらのデータから、各地方公共団体の財政状況を知ることができます。

### 財政力指数 0.48

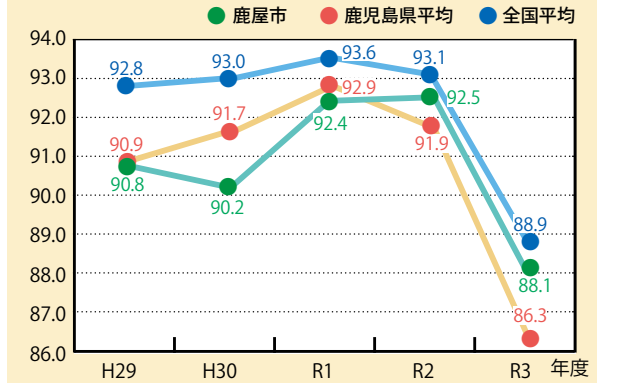
地方公共団体の財政力を判断する指標。「基本的な財政運営を行うための経費」を「市税などの独自の収入」でどれだけ賄えているかを示す数字です。



一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされます。

### 経常収支比率 88.1%

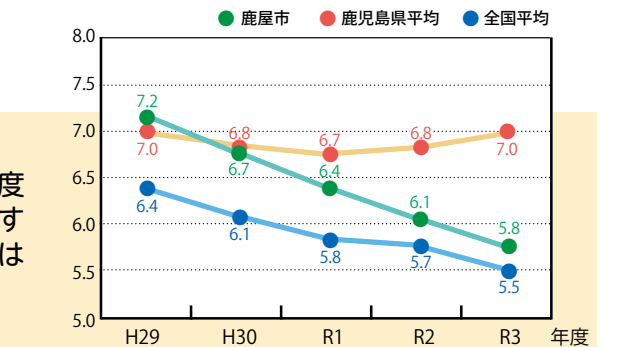
財政構造の弾力性を判断する指標。毎年度経常的に支出される経費に経常的に収入される経費がどの程度充当されているのかを示す数値です。



比率が低いほど政策的・臨時的にお金を支出する余裕のある状態を示します。

### 実質公債費比率 5.8%

借入金の返済額等の大きさから、資金繰りの危険度を図る指標。家計に例えると、1年間の年収に対する借金返済額の割合で、数値が低いほど財政状況は健全であるといえます。



### 健全化判断比率 & 資金不足比率

「健全化判断比率」は財政の健全度を診断する4つの指標です。令和3年度はいずれも国が定める基準をクリアしており、鹿屋市の財政は健全な状態にあるといえます。

指数項目	R3年度	R2年度	内容
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	一般会計等の赤字の程度を示す比率
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	全ての会計の赤字の程度を示す比率
実質公債費比率	5.8%	6.1%	収入に対する交際費の占める割合を示す比率
将来負担比率	将来負担なし	将来負担なし	実質的な借金残高から将来財政への圧迫度を示す比率

指数項目	R3年度	R2年度	内容
資金不足比率	資金不足なし	資金不足なし	公営企業会計毎の資金不足額の事業規模に対する比率



# 鹿屋市のしごと

## 令和5年度の予算

ここからは、令和5年度に鹿屋市が行う主な事業（仕事）と予算について紹介していきます。

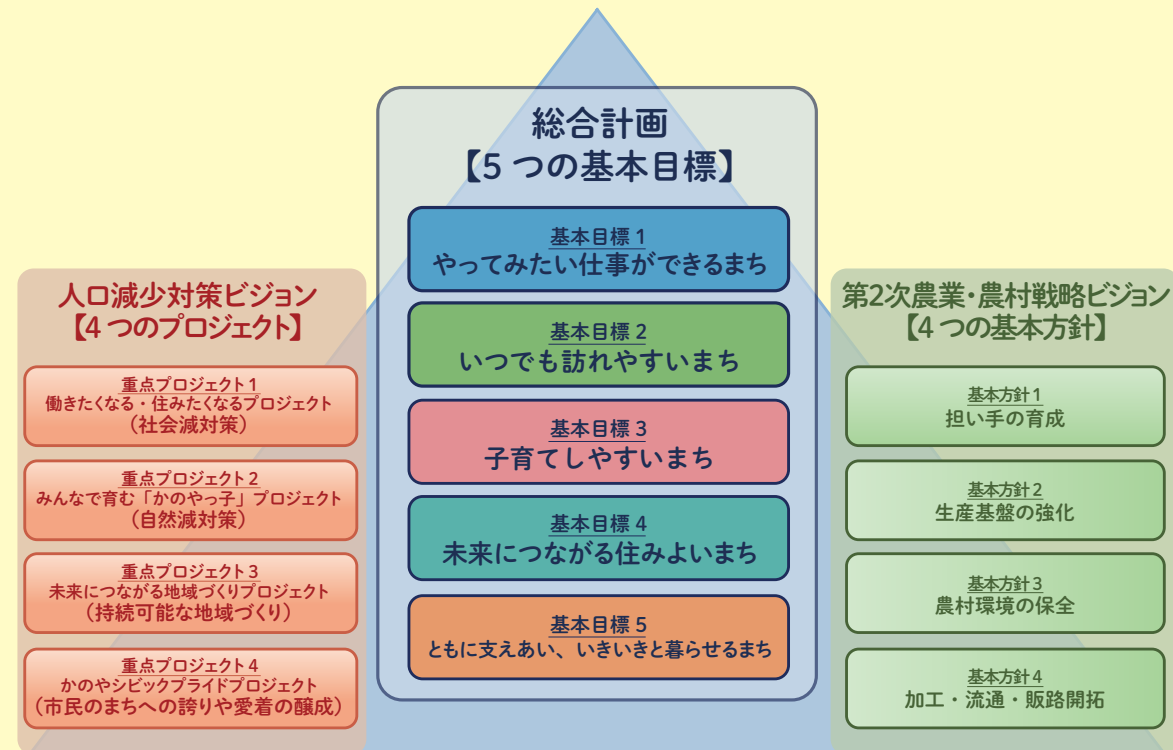


### 予算編成の考え方

令和5年度の予算は、第2次鹿屋市総合計画の基本構想に掲げるまちづくりの将来像“ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市 かのや」の実現に向け、総合計画の5つの基本目標に加え、「鹿屋市人口減少対策ビジョン」や「第2次かのや農業・農村戦略ビジョン」等に基づいた施策・事業を着実に推進する予算として編成しました。

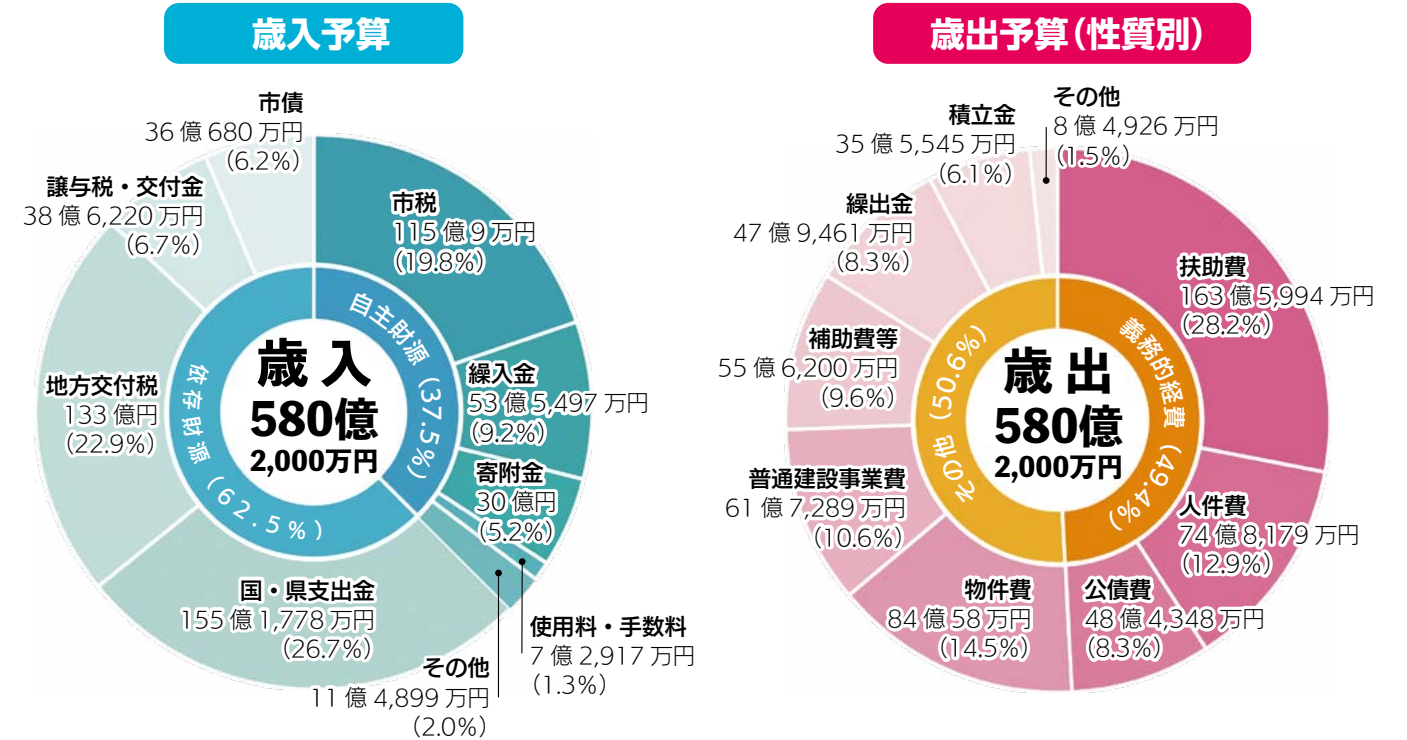
### 施策体系のイメージ

“ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市 かのや」

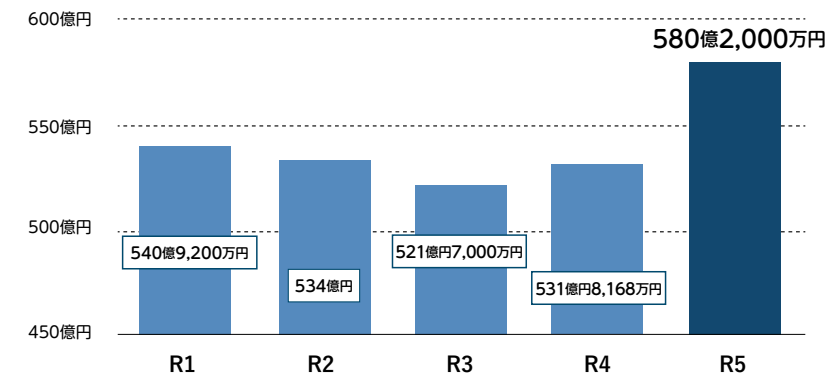


## 令和5年度一般会計当初予算

# 580億2,000万円



### 一般会計予算額の推移



一般会計予算は近年増加傾向にあり、令和5年度は過去最大規模となりました。



### 令和5年度特別会計当初予算

会計	R 5 当初予算
国民健康保険事業	112億1,097万円
後期高齢者医療	15億2,390万円
介護保険事業	119億8,385万円
合計	247億1,872万円

### 令和5年度公営企業会計当初予算

区分/会計	水道事業	下水道事業
収益的収入	17億8,704万円	9億2,496万円
収益的支出	17億6,929万円	8億8,206万円
資本的収入	6,745万円	4億2,603万円
資本的支出	11億4,911万円	7億6,757万円



# 主な事業（しごと）

それでは、令和5年度に鹿屋市が実施する主な取組や事業を見てみましょう。これらの事業は、第2次鹿屋市総合計画で掲げる5つの基本目標と市政運営に位置付けられています。

## < 5つの基本目標ごとの概要 >

### 基本目標1 やってみたい仕事ができるまち

- 基本施策① 活力ある農林水産業の振興
- 基本施策② 商工業の振興と雇用の促進

### 基本目標2 いつでも訪れやすいまち

- 基本施策① 地域資源を生かした観光の推進
- 基本施策② スポーツによる交流の推進
- 基本施策③ 移住・定住の推進



### 基本目標3 子育てしやすいまち

- 基本施策① 子育て支援の充実
- 基本施策② 未来につながる教育の充実

### 基本目標4 未来につながる住みよいまち

- 基本施策① 快適な生活基盤づくりの推進
- 基本施策② 安全で安心な生活の実現
- 基本施策③ 自然環境にやさしいまちづくりの推進

### 基本目標5 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

- 基本施策① 地域福祉の充実
- 基本施策② 健康づくり・生きがいづくりの推進
- 基本施策③ 共生協働・コミュニティ活動の推進



**基本目標1** 【予算額】22億4,643万円

### やってみたい仕事ができるまち

農林水産業の振興や、商工業の活性化、雇用促進への取り組み

**【活力ある農林水産業の振興】**

- ▶ **畑地高度利用促進事業**（農政課） 2,121万円  
畑地かんがい受益地域で、畑地かんがい水によるさつまいも収穫後の輪作を促進し、農家所得向上を図ります。  
新畑かん水利用率向上・輪作体系の確立 2,121万円
- ▶ **畜産産地力向上対策事業**（畜産課） 2億5,519万円  
畜産経営体の設備等の整備や繁殖・肥育農家による生産基盤の維持・拡大の取り組みを支援します。  
新小規模畜産農家の支援803万円  
畜産施設整備の支援 2億4,716万円
- ▶ **鳥獣被害防止対策事業**（林務水産課） 6,372万円
- ▶ **漁業経営強化支援事業**（林務水産課） 900万円
- ▶ **新たな食・農ビジネス創出事業**（産業振興課） 3,215万円

**【商工業の振興と雇用の促進】**

- ▶ **新たな工業団地整備事業**（産業振興課） 1,323万円  
戦略的な企業誘致のための新たな工業団地整備の基本計画を策定します。  
新工業団地整備の基本計画策定 1,323万円
- ▶ **多様な働き方応援事業**（商工振興課） 7,803万円  
都市圏企業と市内企業の交流促進や異業種交流、テレワークの拠点として市民交流センター内にコワーキングスペース（共有環境）を整備します。  
新地方創生テレワークの推進 7,803万円
- ▶ **地元就職支援事業**（商工振興課） 1,444万円

**【地域資源を生かした観光の推進】**

- ▶ **かのやばら園リニューアル事業**（都市政策課） 1,942万円  
今春のリニューアルオープンを契機に、より多くの来園者が訪れる魅力あるばら園の整備を行います。  
リニューアルオープンに伴う施設整備 1,942万円
- ▶ **かのや観光PR事業**（ふるさとPR課） 2,568万円

**基本目標2** 【予算額】29億6,196万円

### いつでも訪れやすいまち

地域資源を生かした観光振興、スポーツによる交流促進、移住・定住の推進

**【スポーツによる交流の促進】**

- ▶ **かごしま国体・かごしま大会開催事業**（市民スポーツ課） 4億6,597万円  
本市で開催される競技の円滑な大会運営を行うとともに、花いっぱい運動を推進し、市民一体となって大会を盛り上げます。  
新かごしま国体・かごしま大会の開催に向けた取り組み 4億6,597万円
- ▶ **スポーツ施設整備事業**（市民スポーツ課） 4億6,883万円

**【移住・定住の推進】**

- ▶ **移住・定住促進事業**（地域活力推進課） 2,247万円  
移住・定住を促進するため、都市圏からの移住者や本市へ移住してテレワークを行う人を支援します。  
また、都市住民を対象とした「かのやローカルチャレンジスクール」を開催し、地域に根付いた関係人口の増加と移住・定住のきっかけづくりに取り組みます。  
・移住者への支援（新テレワーク移住支援金） 1,481万円  
かのやローカルチャレンジスクールの開催 400万円

新：新たな取り組みによる事業 継：前年度からの継続事業 緑：既存事業の内容や対象を広げ、更に一部新規の取り組みを取り入れた事業



## 【子育て支援の充実】

- ▶ **高校生応援給付金支給事業** (子育て支援課) 1億9,848万円  
16～18歳の子どもを養育する人へ、市独自の手当を支給します。  
新 高校生応援給付金の支給 1億9,848万円
- ▶ **学校給食費負担軽減事業** (学校教育課) 1億8,988万円  
小・中学生の学校給食費の半額を支援します。  
新 学校給食費の負担軽減 1億8,988万円
- ▶ **出産・子育て支援事業** (子育て支援課・健康増進課) 1億402万円  
伴走型支援や産後ケアの自己負担を引き下げるなど、出産・子育てに関する支援の充実を図ります。  
新 宿泊産後ケアの経済的負担軽減 296万円  
新 出産・子育て応援交付金の交付 1億106万円
- ▶ **条件付き奨学資金事業** (学校教育課) 54万円
- ▶ **わくわくキッズまつり事業** (子育て支援課) 300万円



## 基本目標 3 【予算額】 40億811万円

### 子育てしやすいまち

子どもを産み育てやすい環境づくりや、心豊かで  
たくましい人づくりの推進

## 【未来につながる教育の充実】

- ▶ **小・中学校大規模改修事業** (教育総務課) 13億9,794万円  
老朽化が進む小・中学校の大規模改修を行い、安全で快適な学校環境の充実を図ります。  
新 小・中学校施設の改修 13億9,794万円
- ▶ **グローバル人材育成事業** (学校教育課) 652万円  
国立台北教育大学(台湾)との連携協定に基づく交流や教育連携等を行い、英語教育の推進と主体的に行動できる人材の育成を図ります。  
新 国立台北教育大学との連携 428万円



## 【地域福祉の充実】

- ▶ **子ども・高齢者見守り支援事業** (子育て支援課・高齢福祉課) 2,704万円  
子どもや高齢者の安全・安心を確保し、安心して暮らすことができる環境づくりを支援します。  
新 保育所等の送迎用バスの見落とし防止対策等支援 2,654万円  
新 高齢者見守り機器の購入支援 50万円
- ▶ **農福連携推進事業** (農政課) 263万円



## 【共生協働・コミュニティ活動の推進】

- ▶ **地域活動基盤強化事業** (地域活力推進課) 1,050万円  
町内会が実施する地域の課題解決等の経費を支援し、町内会活動の活性化を図ります。  
新 町内会活動への支援強化 1,050万円



## 基本目標 5 【予算額】 10億9,661万円

### ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

地域福祉の充実や、健康・生きがいづくり、地域コミュニティ活動の推進

## 【健康づくり・生きがいづくりの推進】

- ▶ **文化会館長寿命化事業** (生涯学習課・政策推進課) 8,933万円  
市民の文化・芸術活動の拠点である文化会館を計画的に修繕・改修します。  
新 文化会館の長寿命化改修 8,883万円  
新 文化ゾーンのあり方検討 50万円
- ▶ **文化のまち鹿屋魅力アップ事業** (生涯学習課) 3,464万円  
本物の文化に触れる機会を提供し、文化の香り高いまちづくりを目指します。  
新 文化事業の充実 3,464万円



## 【快適な生活基盤づくりの推進】

- ▶ **コンパクトシティ推進事業** (建築住宅課・都市政策課) 9,460万円  
鹿屋市立地適正化計画に定める居住誘導区域・地域生活拠点維持区域内の住宅取得に対する補助金の創設や、中心市街地の低未利用地活用に向けた現況調査等を実施します。  
新 居住誘導区域・地域生活拠点維持区域内住宅取得支援補助金の創設 8,220万円  
新 中心市街地の低未利用地活用に向けた調査 680万円  
新 都市計画道路文化線の用地測量 560万円
- ▶ **道路整備事業** (道路建設課・農地整備課) 9億6,795万円
- ▶ **市営住宅改善・改修事業** (建築住宅課) 10億6,679万円

## 【自然環境にやさしいまちづくりの推進】

- ▶ **環境対策推進事業** (生活環境課・畜産課) 3億8,163万円  
「ゼロカーボンシティかのや」の実現に向けた取り組みや畜産環境対策を推進します。  
新 「鹿屋市地球温暖化対策実行計画」の改定 1,270万円  
新 資源物リサイクル対象の拡大 7,542万円  
・畜産環境対策の推進(新アンモニア臭分解メッシュ柵の設置) 1,909万円

## 基本目標 4 【予算額】 41億8,679万円

### 未来につながる住みよいまち

住環境の整備、安心して暮らせる地域や自然環境に  
やさしいまちづくりの推進

## 【安全で安心な生活の実現】

- ▶ **危険空き家解体支援事業** (安全安心課) 2,700万円  
危険空き家の解消を推進するとともに、居住誘導区域等への支援強化により都市機能設備などの集約によるコンパクトなまちづくりを目指します。  
・危険空き家解体支援の強化 (新居住誘導区域・地域生活拠点維持区域) 2,700万円
- ▶ **雨水・排水対策事業** (都市政策課・道路建設課) 4億6,998万円  
幹線排水路等の整備や流出抑制施設を整備することにより、浸水・冠水等の改善を図ります。  
新 道路冠水や宅地浸水防止のための排水路整備 4億6,255万円  
新 公共施設を活用した雨水流出抑制施設の整備 743万円



## 【デジタル・ガバメントの推進】

- ▶ **メタバース活用の検討** (デジタル推進課) 605万円  
メタバース(仮想空間)内での情報発信を通じて、デジタル関係人口を創出するため、メタバース上に鹿屋市を身近に感じられる環境整備を検討します。  
新 共創ワークショップの開催 605万円
- ▶ **高度IT人材等交流育成事業** (産業振興課) 302万円  
本市が抱える地域の課題に対し、デジタル技術などを活用してこれまでにない解決策(アイデア)を考え出すため、都市部のITエンジニアやビジネスプランナー、市内企業や高校生、市職員等の地元人材など、様々なスキルを持ったメンバーによる高度IT人材等交流イベントを開催します。  
新 高度IT人材等交流イベントの開催 302万円



## 市政運営

### 効率的・効果的な行政サービスの提供

デジタル技術等の活用による利便性向上や、業務効率化、デジタル人材の育成

## 【マイナンバー制度の推進】

- ▶ **マイナンバーカードの利活用促進** (デジタル推進課) 202万円  
マイナンバーカードを活用できるプラットフォームの構築により、市民の利便性向上と行政事務の効率化を図り、地域のデジタル化を推進するとともに、マイナンバーカードの普及促進につなげます。  
新 マイナンバーカードを活用したサービスの展開 202万円





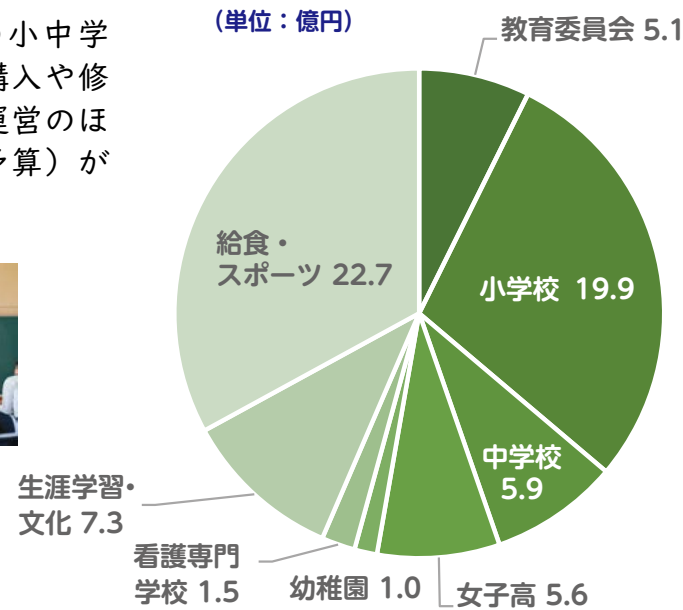


## 私たちの教育に使われるお金

学校など教育を受けられる場を運営・維持していくためには、様々なお金が必要です。鹿屋市では、教育委員会の運営や市立の小中学校・女子高・看護専門学校で使う物品の購入や修繕、校舎の建設や改修などの学校の管理運営のほか、文化・スポーツの振興などにお金（予算）が使われています。



教育費(約68.9億円)の内訳 (令和5年度)



### 小学校の管理運営にかかる予算 (総額約19.9億円)



○児童1人あたりの教育費 (令和5年度小学校費)

年間	約316,100円
月額	約26,300円

※令和5年度は、大規模改修を予定している小・中学校があることから例年より金額が大きくなっています。

※鹿屋市内の児童数 6,292人 (令和5年5月1日現在)

### 中学校の管理運営にかかる予算 (総額約5.9億円)



○生徒1人あたりの教育費 (令和5年度中学校費)

年間	約189,300円
月額	約15,700円

※鹿屋市内の生徒数 3,092人 (令和5年5月1日現在)

ほかにも、学校生活に関係する予算として、学校給食やいじめ対策、特別支援教育にかかる経費などがあります。

	用語	用語説明
歳入に関すること	一般財源	市税や地方交付税など、用途が特定されずに市が自由に使いみちを決められる収入のこと。
	特定財源	使い道があらかじめ決められている収入のこと。国から交付される国庫支出金や県から交付される県支出金、市営住宅や市施設の使用料など。
	市税	市に納められる税金。市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など。
	地方交付税	地方税収の差などを調整するために、財源が足りない地方公共団体に対して国から交付されるお金。「普通交付税」と「特別交付税」があります。
	国庫支出金	市が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金。
歳出に関すること	県支出金	市が行う特定の事業に対して、県から交付されるお金。
	義務的経費	一般会計の歳出のうち、人件費、扶助費、公債費の3つを合わせたもの。毎年支出が必要となる固定的な経費。
	人件費	職員の給料や、退職手当などを合計したもの。
その他	扶助費	児童手当、生活保護、保育所・認定こども園などの運営、医療費の援助など、主に福祉や医療に必要な費用。
	公債費	公共施設の建設などのために借り入れした市債の返済などに要するお金。元金と利子、市債発行や返済にかかる手数料なども含む。
その他	基金	自治体の貯蓄のことで、それぞれ目的をもって積立・取崩が行われています。 【鹿屋市の主な活用基金】 ふるさと鹿屋応援基金、地域振興基金、財政調整基金 など
	市債	長期間にわたって使われる道路や公園など、公共施設の整備や保全・更新の事業のために借り入れるお金。 【参考】令和3年度末の市債残高：400億4,448万円
	ふるさと納税	自分が応援したい自治体に寄附を行うと、特産品等の返礼品や税額控除をうけられる制度です。鹿屋市では、全国から集まった寄附金を「ふるさと鹿屋応援基金」として積み立て、次年度に地域活性化、健康、福祉、環境保全、教育・文化・スポーツ振興など、市の様々な事業に活用しています。 【参考】鹿屋市のふるさと納税寄附金額 28億1,447万円 (令和3年度)



▲ふるさと納税について (鹿屋市ホームページ)

## 鹿屋市の財政について調べる



▲「鹿屋市の財政状況」 (鹿屋市ホームページ)

鹿屋市行財政将来ビジョン (R5~R14)

## 鹿屋市の情報を知る



▲鹿屋市総合アプリ「かのやライフ」で、市からのお知らせやイベント情報など発信しています。





ひとが元気!まちが元気!  
「未来につながる健康都市 かのや」

